



令和元年八月八日(2019年8月8日)

各位

会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田島 秀二
 (コード番号：7707 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役総務部長 田中 英樹
 (TEL 047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2018年8月14日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

- (1) 2019年6月期通期連結業績予想の修正
 (2018年7月1日～2019年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,300	△250	△275	△300	△13円01銭
今回修正予想(B)	4,381	162	137	128	5円29銭
増減額(B-A)	81	412	412	428	
増減率(%)	1.8%	-%	-%	-%	
(参考)前期実績 2018年6月期	3,641	△385	△385	△457	△19円84銭

(2) 連結業績予想の修正理由

当連結会計年度は、売上高4,381百万円(当初予想比1.8%増)、売上総利益1,551百万円(当初予想比3.4%増)の見通しです。

エリテック社向け OEM（相手先ブランドによる販売）供給製品である全自動遺伝子診断装置の販売や、バイオ関連業界の大手企業との OEM 供給契約に基づく DNA 自動抽出装置等の販売が好調に推移したこと等により、全体としては当初予想比だけではなく、対前年同期比でも増収増益の見通しです。

また、費用面においては、経費削減努力により研究開発費 377 百万円（当初予想非開示、参考:前期実績 568 百万円）、その他費用削減にも努め、販売費及び一般管理費は、1,388 百万円（当初予想比 20.6%減）の見通しとなっています。

これらの増収増益と経費削減の結果、営業利益 162 百万円（当初予想は営業損失△250 百万円）、経常利益 137 百万円（当初予想は経常損失△275 百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、128 百万円（当初予想は親会社株主に帰属する当期純損失△300 百万円）となる見通しです。

2. 今後(2020年6月期)の見通しについて

今後の見通しに関しては、正式には決算発表時に公表させていただきます。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上